

施策 1 県民の生命と財産を守るインフラの強靱化と防災・減災力の強化

方向性① 気候変動に対応した流域治水対策の推進

- 洪水被害が頻発している河川の整備等の推進
- 国直轄河川・ダム等の整備促進
- 県管理ダムの適切な維持・運用
- 総合的な土砂災害対策等の推進
 - ・砂防えん堤の整備等、ハード対策の実施
 - ・土砂災害警戒区域の指定等、ソフト対策の実施
- 防災重点農業用ため池等の防災・減災対策の推進
- 農地・農業用施設等の洪水調節機能の向上
- 治山対策の推進
- 保安林等の整備による森林の公益的機能の向上

方向性② 大規模地震等に備えた戦略的なインフラ整備

- 防災拠点等へのアクセスを担う緊急輸送道路の整備
- 緊急輸送道路における道路橋梁等の耐震機能強化
- 緊急輸送道路の法面・盛土等における土砂災害防止対策の推進
- 電柱倒壊リスクがある市街地等の緊急輸送道路の無電柱化対策の推進
- 【新】道路法に基づく道路計画に位置づけられた道路啓開訓練の実施
- 下水道施設の耐震化の推進
- 海岸における津波防災・侵食対策の推進
- 港湾施設における津波防災・減災対策の推進
- 住宅・建築物の耐震診断・耐震改修の促進

Point

・東日本大震災や能登半島地震の教訓を踏まえ、発災時に実効性のある道路啓開を可能とするため、実践的な訓練を実施

方向性③ 地域の防災力の強化 【自助・共助の推進】

- 自助・共助の行動に結びつく防災意識の向上
- 共助機能の強化による地域の防災活動の推進
- 民間、NPO等との協働の推進
- 立地適正化計画の策定及び評価・見直しに取り組む市町への支援

方向性④ 災害への対応力の強化 【公助の推進】

- 災害対応の基盤となる災害情報の充実
- 災害対応機関の体制強化
- 事前防災の徹底に向けた防災訓練の充実
- 地域の実情を踏まえた被災者支援の強化

方向性⑤ 防災におけるデジタル技術の活用

- 迅速な避難行動に資する河川情報提供体制の充実
- 【新】3D都市モデルの活用による防災まちづくりの促進
- 【新】デジタル技術の活用による防災関連業務の迅速化・効率化の推進

Point

・災害リスク情報の可視化により、住民の防災意識の向上等を図るため、市町村の3D都市モデルの整備や活用を支援

施策 2 社会経済活動を支えるインフラの強化

方向性① 広域交流・物流に不可欠な高速道路等の整備

- 交流の拡大や経済の活性化を支える高速道路網の整備
- 高速道路を補完して広域交流を支える幹線道路網の整備
- 物流・交流拠点へのアクセス道路の整備
- 秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画の実現に向けた関係団体との連携

方向性② 産業・観光を支える港湾施設の整備

- 洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備
- 環日本海交流の拠点となる港湾の機能強化

方向性③ 生活基盤の整備による安全・安心の確保

- 地域生活に直結する道路や交通安全施設の整備
- 道路除排雪の実施と消融雪施設の維持管理・更新
- 冬季の安全・安心な道路通行環境確保に向けた雪崩、吹雪への対策の推進
- 公共下水道、合併浄化槽の整備
- 市町村における水道水の供給体制の整備等に対する支援
- まちづくりの方向性に合わせた街路の整備
- 県立都市公園における指定管理者との協働による施設整備や管理運営

Point

・従来型の大規模集中給水方式に加え、分散型システム等の特性を活かした取組への支援

方向性④ 社会基盤の整備・運用を通じたカーボンニュートラルの推進

- 脱炭素先行地域事業の着実な推進
 - ・官民連携手法を活用した秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業の実施
- 【新】港湾や空港における脱炭素化の推進
- 住宅の断熱・省エネ性能向上への支援

Point

・近年の災害状況や社会情勢の変化などに対応するため、行政による取組（公助）の強化はもとより、地域の防災力（自助・共助）の強化を推進

施策 3 持続可能なインフラマネジメントの実現

方向性① 防災・減災・県土強靱化を担う建設業の担い手確保

- 若年層を中心とした建設業への興味・関心の醸成やイメージアップの取組
- 業界団体を通じた企業の経営改善や経営基盤強化に向けた支援
- 建設産業における賃金水準を含む職場環境の改善に向けた取組の推進

Point

・SNSを活用した若年層への情報発信に加え、外国人材登用を促進
・特に減少が懸念される技能工の確保に向け、技術専門学校等、実践技能者育成機関との連携を強化

方向性② 進行するインフラ老朽化への対応

- 道路、河川、港湾、下水道等インフラ施設の計画的な修繕・更新等の実施
- 基幹的農業水利施設の計画的な修繕・更新の実施
- 漁港海岸保全施設の計画的な修繕・更新の実施
- 治山施設の計画的な修繕・更新の実施

Point

・橋梁修繕について、修繕措置着手率が目標を上回るペースで対策を進めており、次期総合計画では修繕措置完了率の更なる向上に向け対策を深化
※修繕着手率 R6末時点：93.0%(目標：80.0%)

方向性③ 地域の実情を踏まえた総合的・効率的なインフラマネジメント

- 生活排水処理施設の集約・再編や汚泥処理の広域化・共同化の推進
 - ・流域下水道を核としたウォーターPPPの導入検討
- インフラマネジメントにおける市町村等との連携
 - ・県道と市町村道の交換除雪の実施
 - ・関係機関との連携による、市町村点検業務の包括発注の実施

方向性④ 建設産業の生産性向上に向けたデジタル化の推進

- 調査・設計段階におけるデジタル技術の活用
 - ・BIM/CIM等の活用により、事業全体の作業効率化を推進
- 効率性や安全性の向上に向けたICTの活用等の推進
- 道路、河川、港湾における維持管理の効率化・高度化に向けたDXの推進

提言に向けてのポイント

不足する取組はないか

新たに採り入れるべき手法はないか

重点的に取り組むべき事項は何か

どのような視点を持って施策を進めるべきか

どのような取組を強化するべきか

等